令和3年度教育課程研究集会
小学校　音楽

奈良県教育委員会事務局学校教育課
義務教育係　指導主事　辰巳真弓

小学校音楽科の指導におけるＩＣＴの活用

音や音楽 ＝ 終了すると音響として存在しなくなる

視聴覚機器の活用

↓

ＩＣＴ機器の活用

○様々な感覚を結び付けて理解を深める
○主体的に学習に取り組む

ＩＣＴの活用と学習指導要領の関連

小学校学習指導要領（平成29年告示）
第２章　各教科　第６節　音楽　第３　指導計画の作成と内容の取扱い

活用の目的について明記

２　第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1)　各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ウ　児童が様々な感覚を働かせて音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるようにするため、コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること。

ＩＣＴを音楽科における資質・能力の育成に効果的に活用できるよう工夫する。

小学校音楽科において育成を目指す資質・能力

音楽科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

知識及び技能

(2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。

思考力、判断力、表現力等

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

学びに向かう力、人間性等

実践発表について

○バーチャル楽器やリズムアプリを活用した学習活動

思考力、判断力、表現力等

第5学年及び第6学年　A表現（２）器楽
　ア　器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。
第5学年及び第6学年　共通事項
　ア　音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。

○アプリを活用したアンケート
○楽譜作成ソフトの活用
○録画機能、ファイル共有機能の活用

小学校音楽科におけるＩＣＴ活用の例

■ＩＣＴ端末で範奏を聴きながら各パートを演奏したり、自分たちの演奏を録音・録画するなどしながら表現の仕方を工夫したりする。

【表現】

■ＩＣＴ端末で音のつながりを様々に試し、聴覚や視覚などから音の組合せの特徴を捉え、自らの表現に生かすようにする。

【表現】

■ＩＣＴ端末で自分が気になったところを何度でも繰り返し聴いたり、クラウドを活用して感じたことなどについて友達と交流したりすることで、より深く音楽のよさを感じ取ることにつながるようにする。

【鑑賞】

■学習の振り返りや成果の確認に生かすなど、学習のポートフォリオとして活用する。

【表現】【鑑賞】

小学校音楽科におけるＩＣＴ活用の際の留意点

▼児童の感覚を十分に働かせたり、思考を活性化したり、工夫を促進したりすることができるよう、音楽科の学習の特質に合わせた活用を行っていくよう配慮する。

▼ＩＣＴ端末の操作そのものが目的化しないように留意し、授業のねらいに応じて、ＩＣＴ端末の多彩な機能の中から厳選して用いるようにするとともに、活用場面を精選する。

▼児童が自分たちの演奏のよさや課題に気付くようにしたり、必要に応じて児童が自らＩＣＴ機器を活用できるようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう指導を工夫する。

資質・能力の育成のために

ＩＣＴ機器の活用

→

- 自分の音楽表現を楽しんだり高めたりする
- 他者と共に音楽活動を楽しむ
- 多様な音や音楽、音楽文化に触れ親しんでいく

生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力

GIGAスクール構想のもとでの小学校音楽科の指導について
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00007.html

小学校・第４学年・音楽科・日本の音階で旋律をつくろう①

育成を目指す資質・能力

我が国の音楽の旋律や音階などの特徴に気付くとともに，即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けながら，即興的に表現することを通して，音楽づくりの発想を得ることができるようにし，我が国の音楽に親しむ。

ICT活用のポイント

音のつながりを様々に試し，聴覚と視覚から音の組合せの特徴を捉え，自らの表現に生かすようにする。

事例の概要

日本の音階について気付く

リズムをつくる

５つの音を使って
リズムに旋律を付ける

友達のつくった旋律と
つなげて演奏する

日本の音階でつくられた我が国の音楽を聴き，旋律や音階などの特徴に気付く。

プログラミングソフト「scratch」のプロジェクトを用いて旋律をつくる。
① 音符の書かれたカードを並べてリズムをつくる。
② つくったリズムに合わせて「ミソラドレ」の５音音階から音を選んで試しながら，即興的に音を組み合わせて旋律をつくる。

友達のつくった旋律とつなげてリコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏して，つくった音楽を聴き合う。

プログラミングソフト「scratch」の
プロジェクトを用いた事例

第4学年
日本の音階で旋律をつくろう

小学校・第４学年・音楽科・日本の音階で旋律をつくろう②

【事例におけるICT活用の場面　１】

- プログラミングソフト「scratch」のプロジェクトを用い，まずカードを並べてリズムをつくる。
- 次に，つくったリズムに合わせて「ミソラドレ」の５音音階から音を選んで試しながら，即興的に音を組み合わせて旋律をつくる。

✓ 楽譜の読み書きに不安があっても，音で確かめながら音楽をつくっていくことができるという利点がある。

➢ その利点を生かし，「音を組み合わせる⟷聴いて確かめる」を繰り返し，音で確かめながら試行錯誤を重ねられるようにすることが大切。

【事例におけるICT活用の場面　２】

- 一人一人がつくった旋律のデータを教師のICT機器に送信し，クラス全体でお互いの作品を聴き合い，それを参考にしながら自分の旋律をよりよいものにしていく。
- 友達と自分のつくった旋律のつなげ方を，scratchを使って，音で聴きながら確かめる。

✓ 自分たちのつくった旋律を音と音符：聴覚と視覚で確かめながら，その特徴をより具体的に捉えることができるという利点がある。

➢ よりよく工夫した旋律を，実際に自分たちで演奏することで，そのよさなどをより実感できるようにすることが大切。

【活用したソフトや機能】 scratch（ビジュアル・プログラミングソフト）

GIGAスクール構想のもとでの小学校音楽科の指導について
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00007.html

小学校・第６学年・音楽科・手拍子を合わせて演奏しよう①

育成を目指す資質・能力

曲想と音楽の構造との関わりなどを理解するとともに，思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けながら，曲の特徴にふさわしい表現を工夫することができるようにし，手拍子による合奏に親しむ。

ICT活用のポイント

- 自分に必要な機能を必要な場面で選択して使うことができるようにする。
- 学習の振り返りや成果の確認に生かすなど，学習のポートフォリオとして活用することも有効。

曲の特徴をつかむ

各パートを演奏する

演奏の仕方を工夫する

音を合わせて演奏する

事例の概要

- 楽譜を見ながら簡単なリズムを手で打つ。
- 手拍子のリズムを組み合わせた合奏曲を聴き，感じたことや聴き取ったことを話し合い，曲の特徴をつかむ。
- ICT端末で範奏を聴きながら，各パートを演奏する。
- 自分たちの演奏を録音・録画するなどしながら，表現の仕方を工夫する。
- 友達と手拍子を合わせて合奏し，ICT端末で撮影した演奏動画をクラス全体で鑑賞し合う。
- プレゼンテーションソフトに自分たちの演奏データを貼り付け，学習の振り返りを入力する。

第６学年
手拍子を合わせて演奏しよう

小学校・第６学年・音楽科・手拍子を合わせて演奏しよう②

【事例におけるICT活用の場面　１】

- 範奏の音源に合わせて簡単なリズムを手で打つ。
- 各パートの範奏音源を聴きながら模奏する。
- 適宜，他のパートの音源を聴きながら演奏したり，速度を変えながら演奏したりする。
- 自分たちの演奏を録音して確かめたり，録画機能を活用して音色や強弱等について表現の仕方を工夫する。

✓ 一人一人の必要に応じて範奏を聴いたり，自分たちの演奏を客観的に確認したりすることなどができるという利点がある。

➢ 自分たちのペースや課題に合わせて，必要な場面で，必要な機能を選択して使うことができるよう指導を工夫。

【事例におけるICT活用の場面　２】

- 友達と合わせて合奏し，演奏している動画を撮影する。
- プレゼンテーションソフトに自分たちの演奏動画を貼り付け，クラス全体で鑑賞し合う。
- 互いの動画にコメントを付けたり，学習の振り返りを入力したりする。

✓ 自分たちの演奏を客観的に確認したり，それを蓄積して学習の振り返りに活用したり，クラウドを活用して友達と共有したりすることができるという利点がある。

➢ 学習で記録した演奏等をポートフォリオとして保存し，それを学習の振り返りに活用し，学習の成果を確認する機会を設けることも有効。

【活用したソフトや機能】 録音・録画機能，ファイル共有機能

録音・録画機能、ファイル共有機能を活用した事例